

【報道関係者各位】

虐待やネグレクト、親との死別・離別、貧困などの
困難を経験した学生が共に学ぶ3日間

ビヨンドトゥモロウの教育支援プログラム
「スプリング・プログラム 2024」実施のご案内

2024年3月吉日
一般財団法人教育支援グローバル基金

一般財団法人教育支援グローバル基金（本部＝東京都渋谷区、代表理事＝橋本大二郎・元高知県知事）は、3月24日（日）～26日（火）の3日間、虐待やネグレクトにより児童養護施設や里親家庭で育った若者や、ひとり親家庭で経済的困難を抱えながら暮らす高校生、大学生などを対象とした奨学事業の一環として、春の学びのプログラム「ビヨンドトゥモロウ スプリング・プログラム 2024」を東京代々木及び高尾にて実施いたします。

参加学生たちは、様々な事情で親との死別・離別を経験していたり、児童養護施設に暮らしていたりという困難を経験しながらも、自らの手で未来を切り開き、社会に尽力できる存在となる志を持ち、一年間を通じた人材育成プログラム及び一部奨学金給付を含む「ビヨンドトゥモロウ」の奨学生として選出されました。約50名の参加者には、2023年度奨学生および2024年度の奨学生が含まれます。

3日間のプログラム中には、全国から集まる高校生および大学生同士が、自身の背景を語り合うことで自己開示を行う「体験共有」の機会や、虐待やネグレクト、貧困など深刻な社会課題にまつわる当事者体験を基に、社会に声を届けていくためのディスカッションやプレゼンテーションの機会、そして社会の各所で活躍するリーダーとの出会いなど、様々な体験の場を提供します。

一般財団法人教育支援グローバル基金は「ビヨンドトゥモロウ」のプロジェクトにおいて、社会経済的に困難な環境に置かれた若者が経済格差や体験格差、機会の格差により得ることができない学びの機会を提供し、若者が自身の可能性に気づき、挑戦するための成長の過程を応援しています。

■参加学生プロフィール（今回のプログラムに参加する2名の学生の生い立ち）



山田 武（仮名）・高校卒業

両親の離婚の際、父親との生活を選ぶも、父親からの罵倒・虐待や生活制限に苦しむ。常に気を遣う生活の中、再婚相手との兄弟間格差を経験。心が辛いなか、兎相職員の指導を受け高校受験に合格。自立支援施設から高校へ通った。現在は里親の下での生活が始まり、休まず通学している。将来は人の心の傷みが分かる人間になり、障がいを持つ人が個性や特技を発揮できる社会づくりに取り組むべく、大学へ進学し、福祉を学びたいと思っている。

諫山 真弓（仮名） 高校卒業

中学生の頃に両親が離婚し、障害を持つ母親との生活を送っている。家計の負担にならないよう無料塾に通い始め、そこでの出会いが自分を明るくしてくれたと感じている。中学校の生徒会長の選挙や学校改革の取り組みを通して努力は報われると知った。将来は世界で必要とされるITエンジニアになり、人々が快適に過ごせる世界を作ること目標にしている。

No Photo

■ゲストスピーカー



小島 希世子 (おじま きよこ)
NPO 法人農スクール 理事長、株式会社えと菜園 代表取締役

神奈川県野菜農家(認定農業者)。働きたいけど仕事がないホームレスや引きこもりの方と人手不足の農業界をつなぐ「NPO 農スクール」の運営、小学生から中学生までの子ども達が、自然科学や情報技術分野の第一線で活躍されている研究者から直接学べる「畑の理科実験教室」(えと菜園)などの企画・運営を行う。市民の方が農ある暮らしを身近に体験できる体験農園サービス「コトモファーム湘南藤沢」主宰。

■プログラムへのご支援

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ様

このスプリング・プログラムは、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ様のご支援により実施が叶いました。また、この3日間の学びのプログラムは、地域のリーダーや社会人ボランティアの方々、施設、団体など、多くの方々の協力を得て実現しています。



■製品およびサービスのご提供によるご支援

株式会社ジーエークレアス様

プログラム開催にあたり、学生および関係者に配布するプログラム冊子の印刷をキンコーズ・ジャパン関連会社であるジーエークレアス様よりご支援いただきました。



株式会社ビースリー様 『熟成バスクチーズケーキ』

学生の3日間にわたる学びや深い絆づくりにも大切な時間「おやつタイム」を盛り上げるべく、株式会社ビースリー (<https://be-3.co.jp/>) 様よりグルテンフリーの熟成バスクチーズケーキ(<https://agingcheesecake.jp/>)を約60名の参加者全員分無償提供いただきました。



【代表理事 橋本大二郎からのひと言】

私も、長く記者として取材する立場にいたため、このプレスリリースをお読みになった時、「これだけでは、原稿にしにくいな」と思われる方が多いのではと思います。でも考えてみてください、目をそむけたくなるような虐待事件が起きた時だけが、取材の機会ではないはずですよ。

児童虐待の相談件数が22万件近くと、統計を取り始めてから32年間増え続けている現実、また、子どもの貧困率は一時期より下がったとはいえ、一人親世帯の貧困率は半数近くといった現実を考えた時、その渦中にある子どもたちに、少し長いスパンで正面から向き合っていくことも、社会の課題を掘り起こすために大切な取材だと思います。

今回のプログラムは、そうした関心を持たれるメディアの方々に、取材の糸口になるきっかけを、提供できる場だと自負しています。

参加者のプライバシーへの配慮は、お願いしないといけませんが、お時間があれば足を運んでください。



一般財団法人教育支援グローバル基金は、共感力ある次世代のグローバル・シティズン（地球市民）の輩出をめざす「ビヨンドトゥモロー」の運営を行っている非営利の財団法人です。「逆境は優れたリーダーを創る」を理念に、次世代を担う資質を持ちながらも、親との死別・離別を経験したり、児童養護施設に暮らすなどの困難を経験した若者を対象に、奨学金支給及び人材育成プログラムの開催を行い、広い視点、深い共感力をもって社会のことを考えることのできる人材輩出をめざしています。

組織体制

代表理事	橋本 大二郎	元高知県知事
理事	小林 正忠	楽天グループ株式会社 常務執行役員 チーフウェルビーイングオフィサー
	木山 啓子	特定非営利活動法人ジェン（JEN） 理事・事務局長
	本庄 竜介	グリーンコア株式会社 代表取締役
	村瀬 悟	メイヤー・ブラウン法律事務所 弁護士
評議員	塩崎 恭久	元衆議院議員（元官房長官）・一般財団法人勤草日本イニシアティブ 代表理事
	宮城 治男	NPO 法人 ETIC. 創業者
	小宮山利恵子	スタディサプリ教育 AI 研究所所長 東京学芸大学大学院准教授
アドバイザー	阿川 尚之	慶應義塾大学 名誉教授
	竹中 平蔵	慶應義塾大学 名誉教授・元国務大臣
監事	上滝 賢二	元日本放送協会理事

各種年間奨学金プログラムについて

エンデバー（2023 年度在籍者：13 名／2024 年度予定：16 名）

エンデバーは児童養護施設または、里親家庭に暮らす高校生を対象とし、彼らが将来、社会に力を添えることのできる人材になる過程を応援する人材育成事業です。進学準備に際して必要となる受験準備費用を支給すると共に、年間を通じたプログラム開催を通じ、日本全国の社会的養護の立場にある高校生たちが、それまでの日常の中では得られなかった体験を得ることにより、広い視野から、自分に何ができるかを考え、主体的に高校卒業後の進路を選択する過程を応援しています。

ジャパン未来スカラシップ・プログラム（2023 年度在籍者：11 名／2024 年度予定：12 名）

ジャパン未来スカラシップ・プログラムは、高校卒業後、社会のために活躍する人材になるべく進学を目指す若者に、返済不要の奨学金（年間 50 万円・返済不要）を支給するとともに、日本全国から集う様々な想いを持つ学生たちが、それまでの日常の中では得られなかった体験を得ることにより、他者の心の痛みに想いを馳せ、社会をよりよい場にすべく行動できる存在となる過程を応援しています。参加者は日本全国から応募を募り、選考で選ばれたメンバーたちが、返済不要の奨学金を受給する他、年間を通じて開催される国内外での人材育成プログラムに参加します。

ご取材のお申し込みはこちらまで：

一般財団法人教育支援グローバル基金 担当：峰原
TEL:03-5453-8030（繋がらない場合は以下峰原携帯（080-2564-2054）までお電話ください。）
Email: info@beyond-tomorrow.org